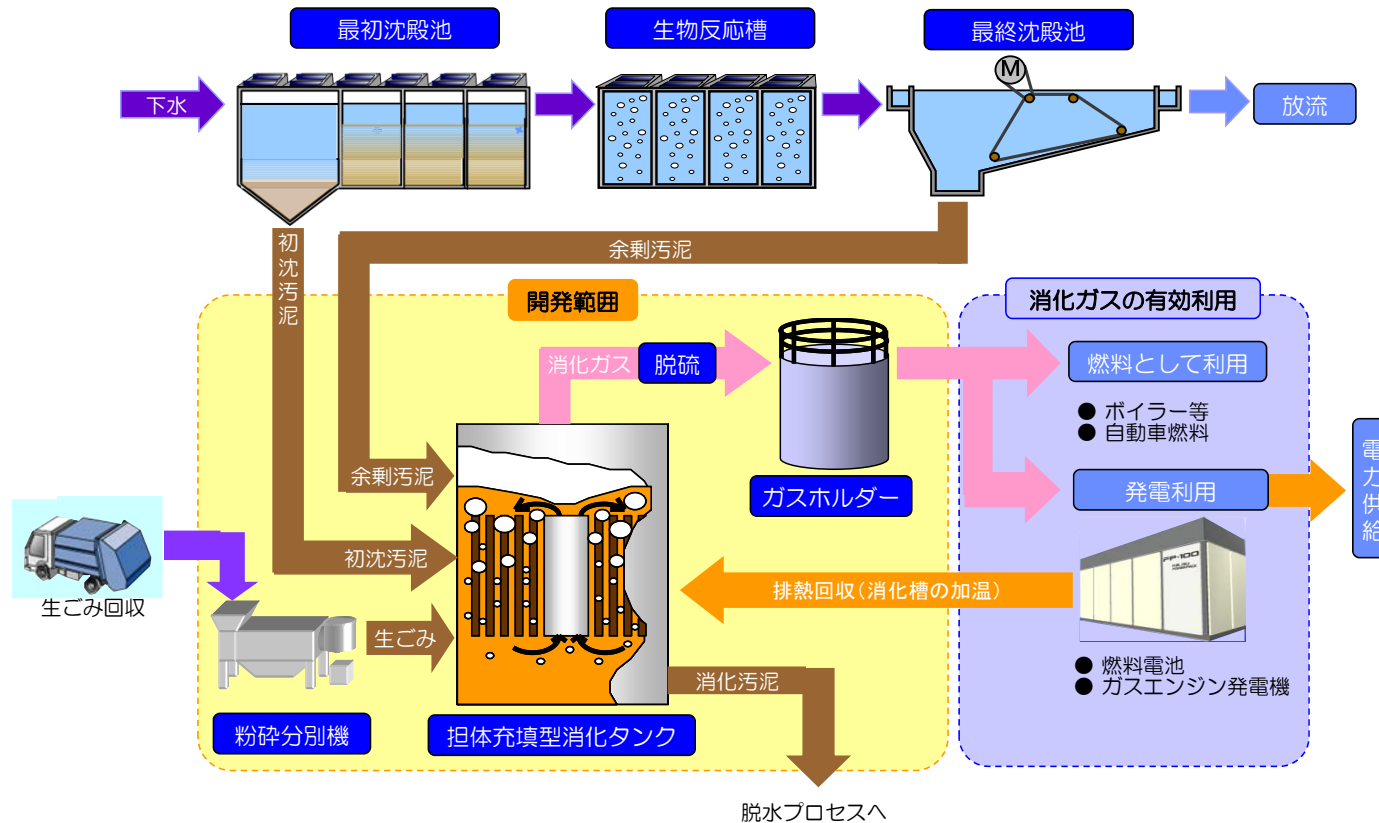


「担体充填型高速メタン発酵システム」

【原理】嫌気性消化に係るメタン菌等の細菌を消化タンクに充填された担体表面に固定化、高濃度保持することにより、高負荷処理でかつ安定した消化を実現するシステム。
55℃程度の温度で消化を行う。

担体充填・鋼板槽・消化阻害対策により、消化日数**短縮!** 建設コスト**低減!** **安定発酵!**



《システムの特長》

- 中温消化に比べて消化速度が早く、VS負荷を3~5倍程度に高めることができ、消化タンク容積の小型化が可能
- 中温消化の約1/2~1/6の滞留時間でも、汚泥分解率と消化ガス発生量は同等もしくはそれ以上
- 負荷変動にも強く、変動の大きい生ごみ等の他バイオマスとの混合消化が可能
- 特許技術の自動発酵制御 (NH₄-N濃度制御、投入負荷量制御) で、安定消化の実現と運転員の負荷軽減が可能